

# 平成24年度策定 地域管理経営計画等(案)の概要

## 北海道森林管理局

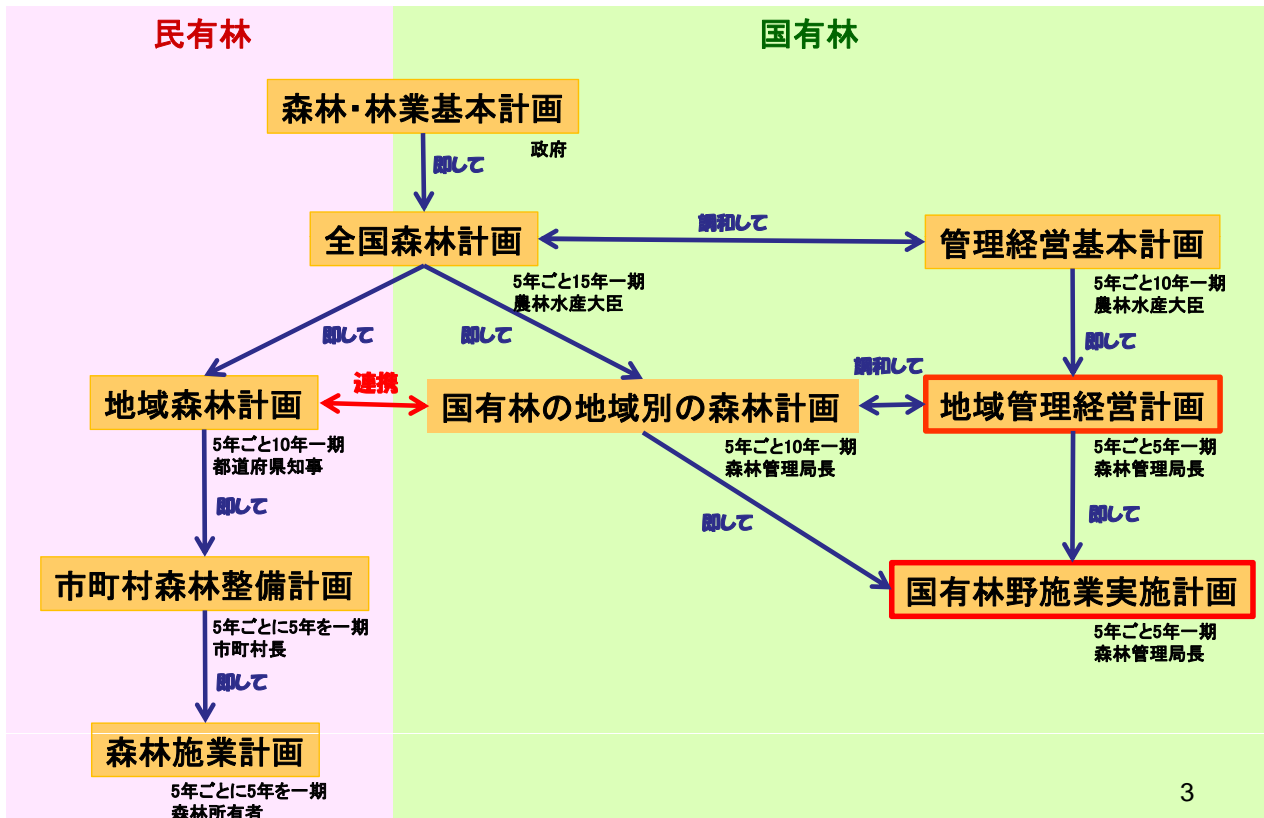
1. 計画の体系及び森林計画区
2. 経常樹立計画の概要
3. 変更計画の概要

水源の森と豊平峡ダム(札幌市)

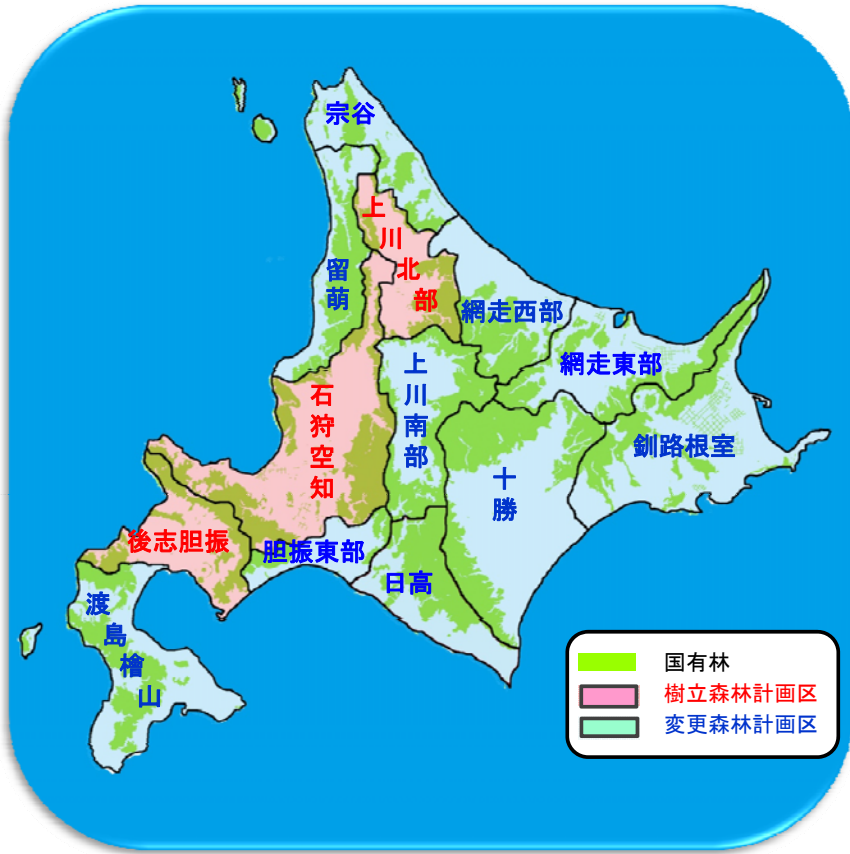
## 1. 計画の体系及び森林計画区

- i) 計画の体系
- ii) 森林計画区の位置

# 計画の体系



# 森林計画区的位置



計画樹立年度

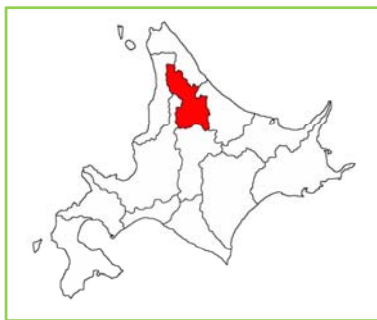
樹立年度	計画区名
24年度	上川北部 石狩空知 後志胆振
25年度	上川南部 網走西部 十勝
26年度	日高 渡島檜山
27年度	胆振東部 宗谷 網走東部
28年度	留萌 釧路根室

## 2. 経常樹立計画の概要

### i) 各森林計画区の地勢、林況

5

## 上川北部森林計画区 ～地勢、林況～

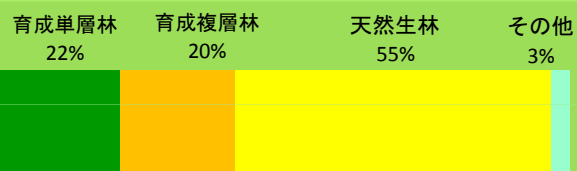


・上川北部森林管理署



流域面積  
420千ha  
森林面積  
324千ha

国有林野  
164千ha

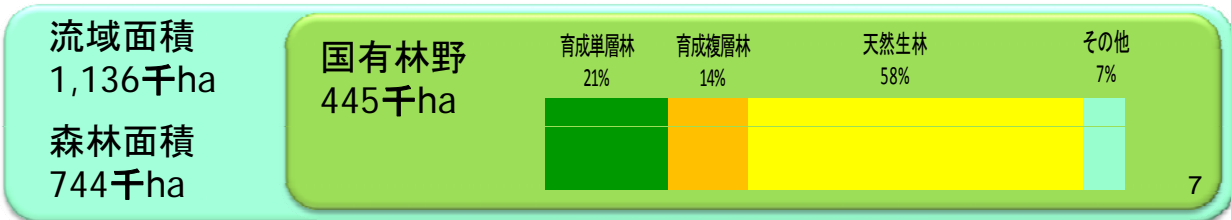


6

# 石狩空知森林計画区 ～地勢、林況～



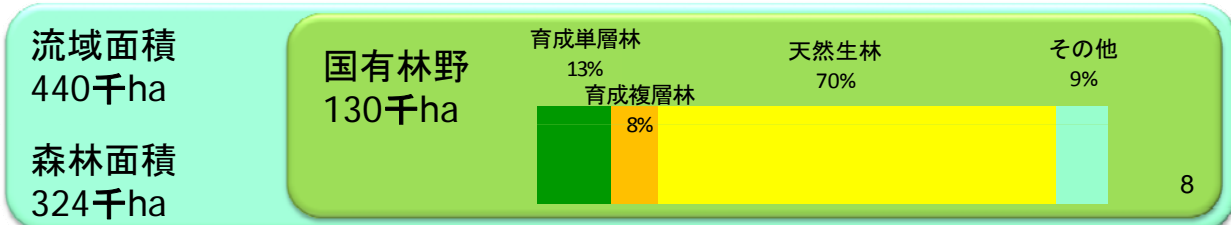
- ・石狩森林管理署
- ・空知森林管理署
- ・空知森林管理署  
北空知支署



# 後志胆振森林計画区 ～地勢、林況～



- ・後志森林管理署



- ii) 計画樹立の基本的考え方
- iii) 新計画の主要計画量

## 計画樹立の基本的考え方

### 森林の公益的機能の維持増進

水源かん養機能、山地災害の防止機能、生物多様性を保全する機能、レクリエーションや教育の場としての保健文化的機能など、森林の多面的な機能の維持増進を図るため、適切な管理経営を行う

### 森林・林業の再生に向けた取り組み

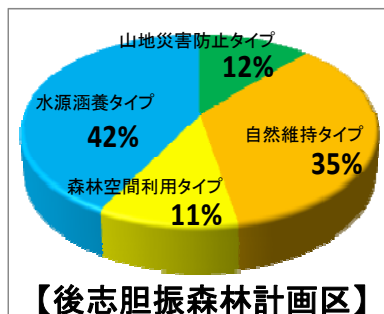
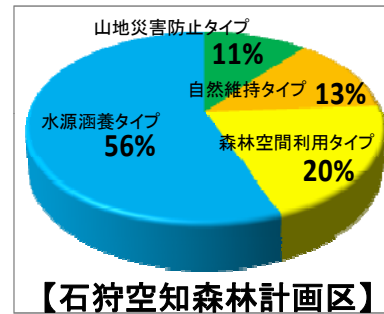
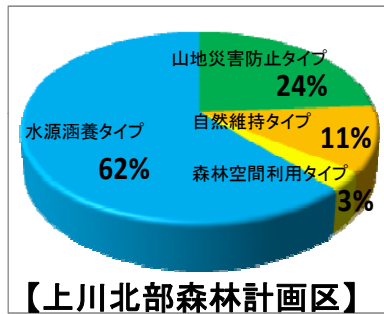
森林施業の集約化、路網の整備及び必要な人材育成を軸として、効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりや木材の安定供給と利用を推進し、10年後の木材自給率50%を目指す

### 地域の特徴を踏まえた国有林の取り組み

開かれた「国民の森林」を実現するため、住民参加の森林づくりを進める一環として、地域の方々からの意見・要望を聴くための「地元意見交換会」を、平成23年12月から24年2月にかけて各森林計画区で行い、寄せられた国民の声を施策に反映させるよう努め、地域の特徴に応じたさまざまな取り組みを推進します <sup>10</sup>

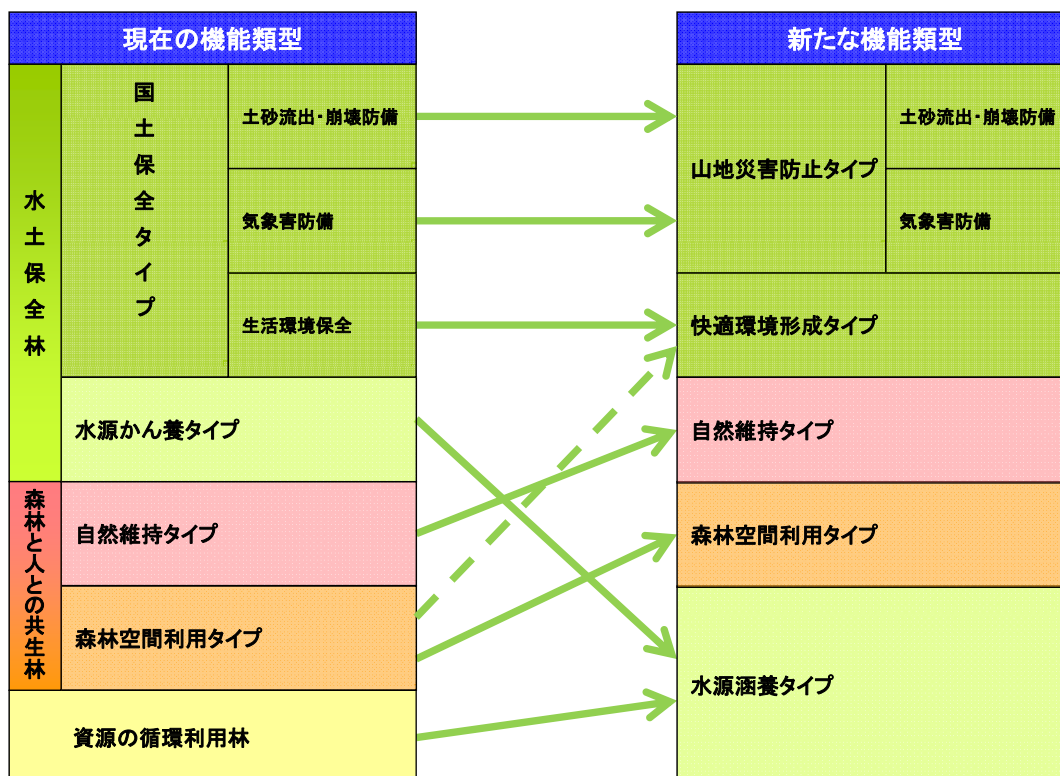
# 機能類型別の面積(割合)

機能類型の考え方の変更に伴って類型区分を再編



定山溪ダム(石狩署管内)

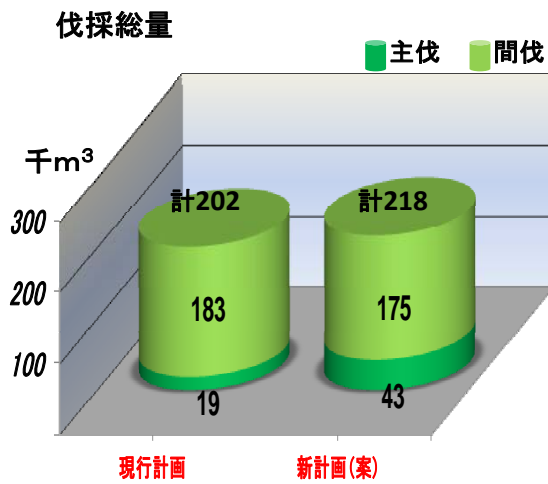
## 新たな国有林の機能類型 (参考)



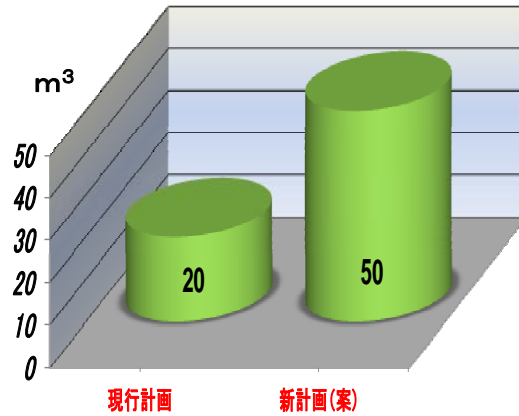
# 伐採計画量

## ～上川北部森林計画区～

※ 計画期間5年分の数値



人工林間伐  
1ha当たり伐採量



### <主伐>

資源の充実を図る目的で複層伐を計画したこと及び分収林が主伐期に達したこと等により現行計画に比べ増加

### <間伐>

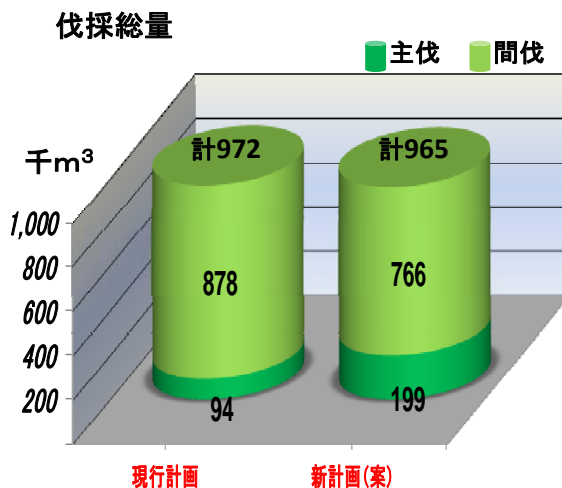
林齢構成の状況から現行計画に比べやや減少しているが、ha当たり伐採量は増加(利用間伐へシフトし、出材量は増)

13

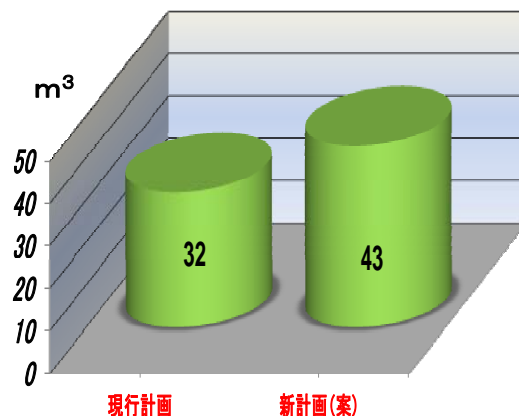
# 伐採計画量

## ～石狩空知森林計画区～

※ 計画期間5年分の数値



人工林間伐  
1ha当たり伐採量



### <主伐>

資源の充実を図る目的で複層伐を計画したことにより現行計画と比べ増加

### <間伐>

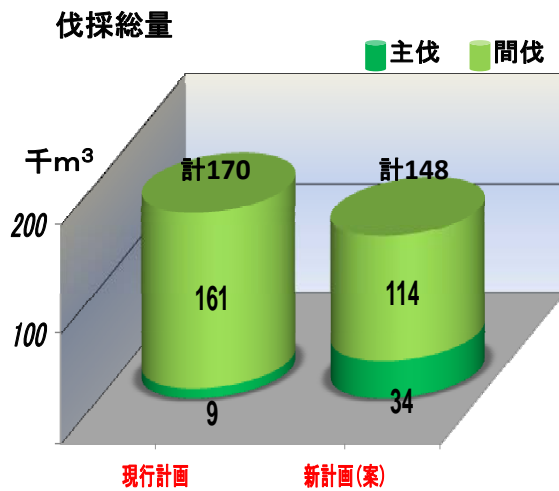
林齢構成の状況から現行計画に比べやや減少しているが、ha当たり伐採量は増加(利用間伐へシフトし、出材量は増)

14

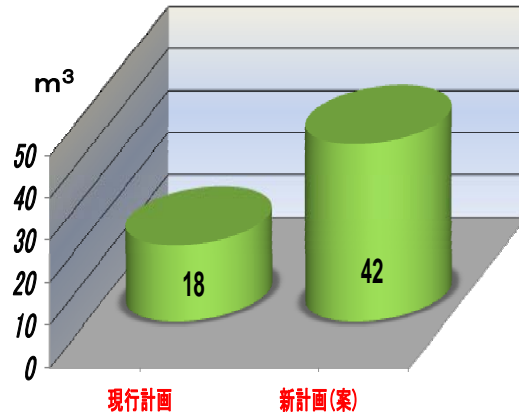
# 伐採計画量

# ～後志胆振森林計画区～

※ 計画期間5年分の数値



人工林間伐  
1ha当たり伐採量



## <主伐>

資源の充実を図る目的で複層伐を計画したこと及び分収林が主伐期に達したこと等により現行計画に比べ増加

## <間伐>

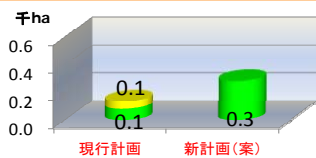
林齢構成の状況から現行計画に比べやや減少しているが、ha当たり伐採量は増加(利用間伐へシフトし、出材量は増)

15

# 更新総量

人工造林 天然更新  
※計画期間5年分の数値

## 上川北部森林計画区



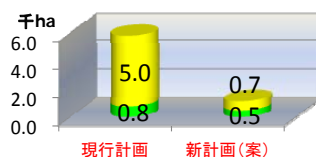
## <人工造林>

複層伐の増加及び分収林の主伐に伴い増加

## <天然更新>

天然林の主伐を計画していないため減少

## 石狩空知森林計画区



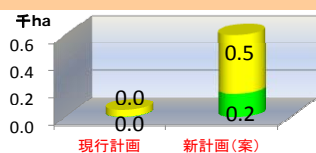
## <人工造林>

複層伐の増加があるものの、台風被害地の更新量の減少に伴い総量ではやや減少

## <天然更新>

天然林の主伐の減少及び台風被害地の更新量の減少に伴い減少

## 後志胆振森林計画区



## <人工造林>

複層伐の増加及び分収林の主伐に伴い増加

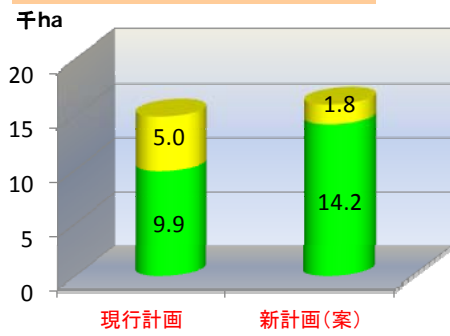
## <天然更新>

「北限のブナ復元プロジェクト」の取組を推進することに  
16 伴い増加



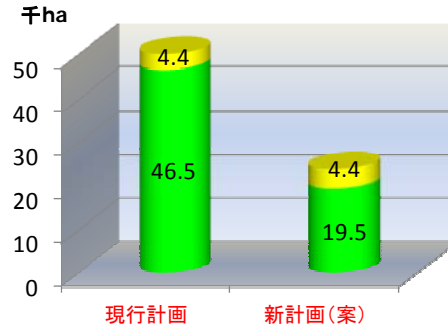
# 保育総量

## 上川北部森林計画区

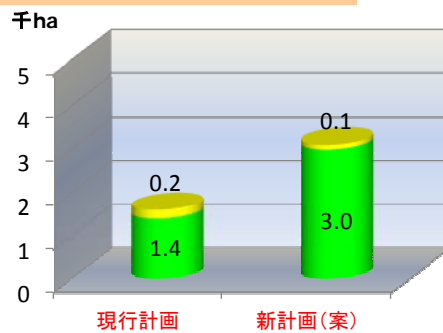


■ 下刈
 ■ つる切・除伐  
 ※計画期間5年分の数値

## 石狩空知森林計画区



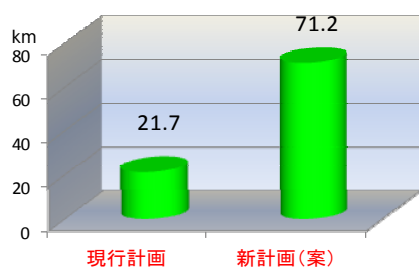
## 後志胆振森林計画区



対象となる林分の年齢構成を踏まえて<sup>17</sup>計画

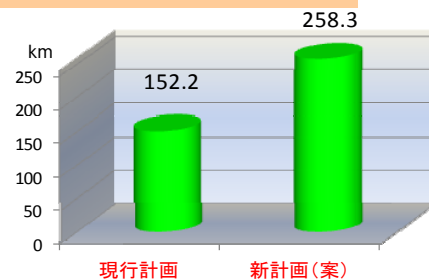
# 林道の開設計画

## 上川北部森林計画区

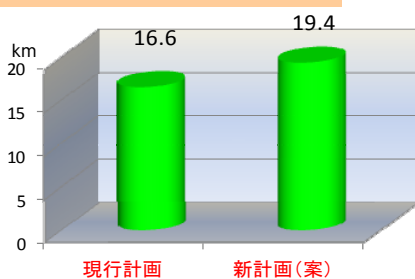


■ 林道  
 ※計画期間5年分の数値

## 石狩空知森林計画区



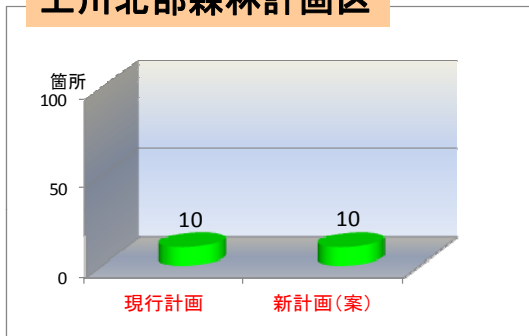
## 後志胆振森林計画区



伐採・搬出のコスト低減に向け、路網密度の向上を目指し、林道の整備を積極的に推進します

# 治山事業

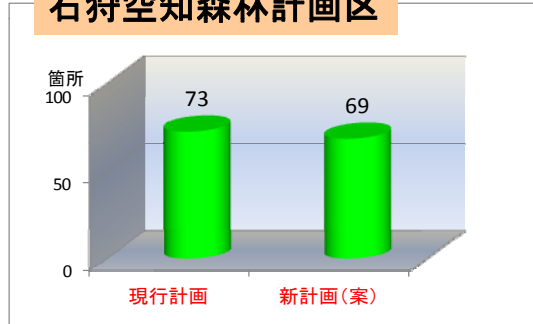
## 上川北部森林計画区



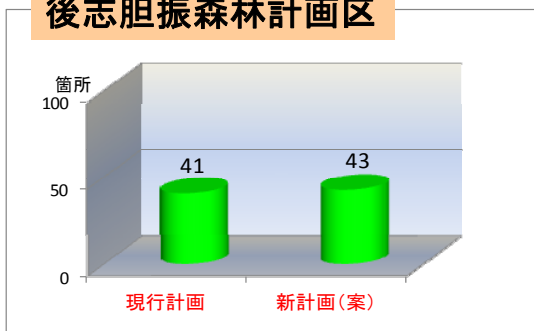
保全施設  
(溪間工、山腹工、保安林管理道)

※計画期間5年分の数値

## 石狩空知森林計画区



## 後志胆振森林計画区



山地災害等の状況を勘案し、必要な山地治山等を着実に推進します

# 保護林

## 保護林制度

原生的な自然の維持や動植物の保護等のため、豊かな生態系を有する森林を保護林として設定し保全する国有林野事業独自の森林保護制度



無意根山周辺植物群落保護林  
(石狩署管内)

種類	上川北部森林計画区		石狩空知森林計画区		後志胆振森林計画区	
	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	-	-	1	3,267	-	-
森林生物遺伝資源保存林	-	-	-	-	-	-
林木遺伝資源保存林	8	114	20	256	6	506
植物群落保護林	-	-	12	2,020	9	2,375
特定動物生息地保護林	-	-	1	26	-	-
特定地理等保護林	-	-	-	-	-	-
郷土の森	-	-	-	-	-	-
計	8	114	34	5,568	15	2,881

※ 現行計画と同数

# 各計画区の特徴ある取り組み

21

## 森林の公益的機能の維持増進①

### 生物多様性保全の推進

「北限のブナ再生プロジェクト」  
後志胆振森林計画区



エゾシカ被害対策(全計画区)



台風による風倒跡地の復旧  
石狩空知森林計画区



シマフクロウ生息環境への配慮  
上川北部森林計画区



22

## 森林の公益的機能の維持増進②

### 保健・レクリエーション・文化機能の発揮

#### 遊々の森

学校や地方公共団体等、NPOと協定を結び、子供たちの体験学習や学習活動のフィールドとして国有林を提供

- ・南小の森（上川北部森林計画区）
- ・わんぱくの森 外（石狩空知森林計画区）
- ・精二郎ブナの森 外（後志胆振森林計画区）



#### ふれあいの森

緑づくりや環境保全に貢献したい方へボランティア活動の場として国有林を提供

- ・白亜の森 外（石狩空知森林計画区）
- ・登別温泉ふれあいの森（後志胆振森林計画区）



#### モデルプロジェクトの森

地域住民や関係団体と協働・連携して地域の特色を活かした森林管理を実施

- ・野幌森林再生 団体型森林づくり（石狩空知森林計画区）
- ・黒松内岳ブナ再生林プロジェクト森づくり（後志胆振森林計画区）



## 森林・林業の再生に向けた取り組み①

### 積極的な森林整備と木材の安定供給

#### 低コスト・高効率な作業システムによる木材生産の推進



高性能林業機械による列状間伐



計画案においては

上川北部森林計画区 191ha  
石狩空知森林計画区 763ha  
後志胆振森林計画区 211ha

の誘導伐を予定



フォワーダによる搬出



低コストで崩れにくい森林作業道

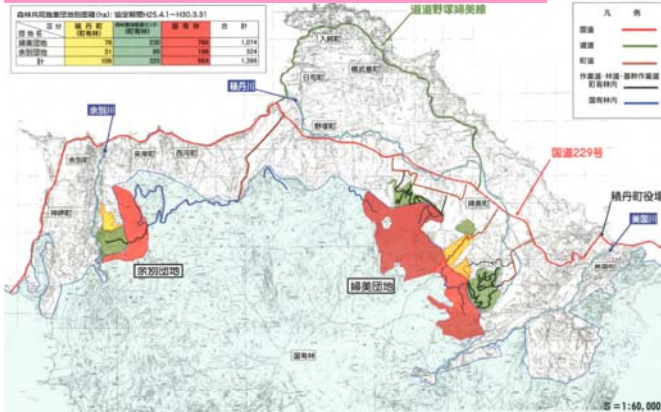
(参考:平成23年度開設延長)  
上川北部署 3箇所 185,315m  
石狩署 5箇所 60,952m  
空知署 10箇所 251,291m  
北空知支署 2箇所 33,724m  
後志署 2箇所 66,740m

## 森林・林業の再生に向けた取り組み②

### 民有林と国有林の連携による森林共同施業団地の設定

(石狩空知森林計画区)

#### 積丹地域森林共同施業団地



(上川北部森林計画区)

#### 二の橋・溪和・班溪地区

森林共同施業団地

#### 珊瑚・一の橋地区

森林共同施業団地



森林整備協定締結の調印式  
(上川北部森林計画区・下川町)

25

民有林と国有林の路網の接続などにより効率的な森林整備を行う

## 森林・林業の再生に向けた取り組み③

### 准フォレスターの育成

高度な知識・技術と豊富な実務経験を有する「准フォレスター」を育成し市町村森林整備計画策定等を技術面から支援



准フォレスター現地研修  
(石狩森林管理署管内)



准フォレスター研修「グループ討議」  
(小樽経済センター)

<市町村森林整備計画作成を支援している市町村>

○上川北部森林計画区  
名寄市、士別市、中川町、  
音威子府村 全4市町村

○石狩空知森林計画区  
千歳市、深川市、積丹町、  
赤井川村 外 全39市町村

○後志胆振森林計画区  
室蘭市、洞爺湖町、倶知安町、  
留寿都村 外 全20市町村

26

## 地域の特徴を踏まえた国有林の取り組み

### 上川北部森林計画区

#### 地元と連携した林業・林産業の振興

本森林計画区を構成する各自治体は、いずれも森林・林業への意識が高く、森林・林業を地域活性化の手段として位置付けており、国有林は、木質バイオマス資源の供給など、地域と連携し、地域に貢献する取り組みを進めます



#### シマフクロウの生息環境への配慮

本森林計画区には、シマフクロウの生息・繁殖が確認されている地域があり、道北における繁殖地の確立及び分布域の復元を目指し、関係機関により保護増殖のための取り組みが進められています。このことから、シマフクロウの行動圏の把握や、生息地周辺における森林施業等による、生息環境への影響についての配慮に努めます



27

## 地域の特徴を踏まえた国有林の取り組み

### 石狩空知森林計画区

#### 台風による風倒跡地の復旧

平成16年の台風18号による大規模な風倒被害を受けた支笏湖周辺の森林については、天然力も活用しつつ、風害に強い多様な樹種・樹冠層により形成される森林を目指すこととし、NPO、ボランティア団体及び企業等とも連携した取り組みを進めてきており、こうした国民参加による森林整備の取り組みを引き続き進めます



#### 防風保安林の整備・保全

石狩平野及び日本海沿岸部には、厳しい風から農地・市街地を守る防風保安林があり、安定的な農業生産の確保、住民の生活環境の保全及び景観保持等に大きな役割を担っています。これらの機能の維持のため、地域との協働・連携も図りながら、防風林の若返りも含めた適切な整備・保全に取り組みます



28

### 北限のブナ林の復元活動

本森林計画区は、自生するブナの北限地帯であり、生物多様性の保全に資する観点から、健全な森林への改善を目指した「北限のブナ復元プロジェクト」を平成19年度から展開しています。今後も、地域住民、NPO等の参加も得たブナ林復元への取り組みを引き続き進めます



### 噴火による火山性崩壊地の復旧

有珠山の噴火(平成12年)による火山性崩壊地の復旧については、長期間にわたる保全対策が必要であり、地域の理解を得ながら、土砂の流出防止、森林復旧による水源涵養機能の向上などを目的に、引き続き整備を進めます



29

## 3. 変更計画の概要

# 変更計画のポイント

機能類型の見直し

(全ての変更計画区)

林道計画の見直し

(渡島檜山、日高、上川南部、宗谷、網走東部、釧路根室、十勝計画区)

保護林の新設

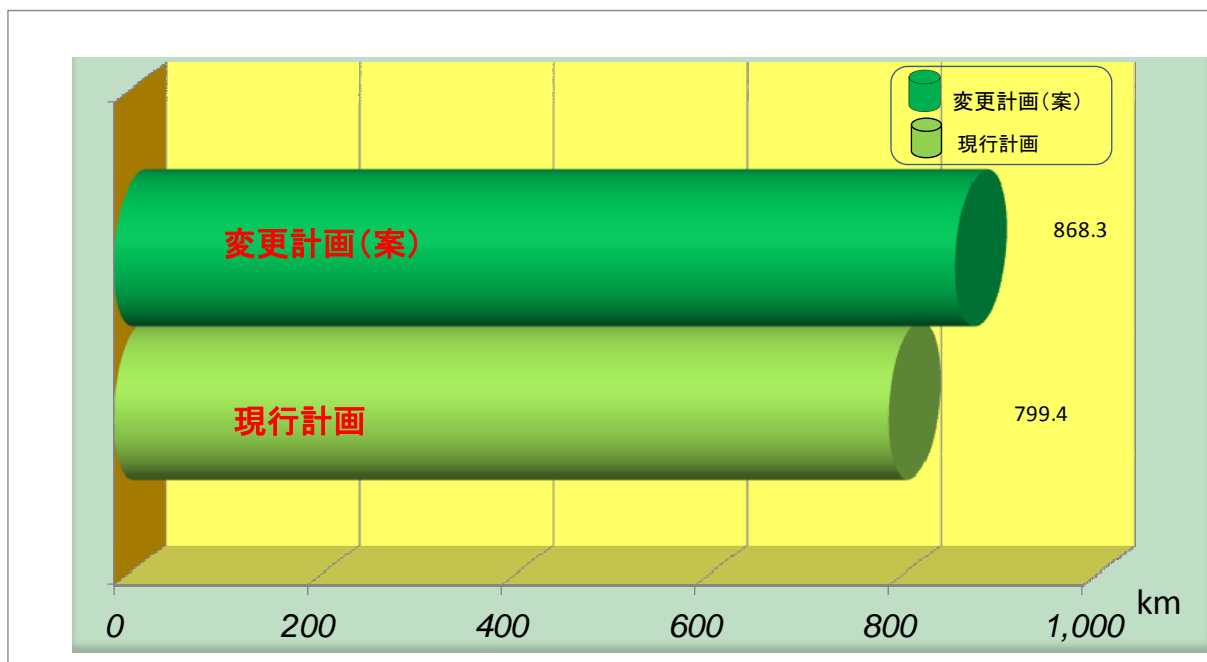
(日高、十勝森林計画区)

森林計画区	経常樹立	変更		
		機能類型	林道計画	保護林新設
上川北部	○			
石狩空知	○			
後志胆振	○			
渡島檜山		○	○	
胆振東部		○		
日高		○	○	○
上川南部		○	○	
留萌		○		
宗谷		○	○	
網走西部		○		
網走東部		○	○	
釧路根室		○	○	
十勝		○	○	○

31

## 林道計画の見直し

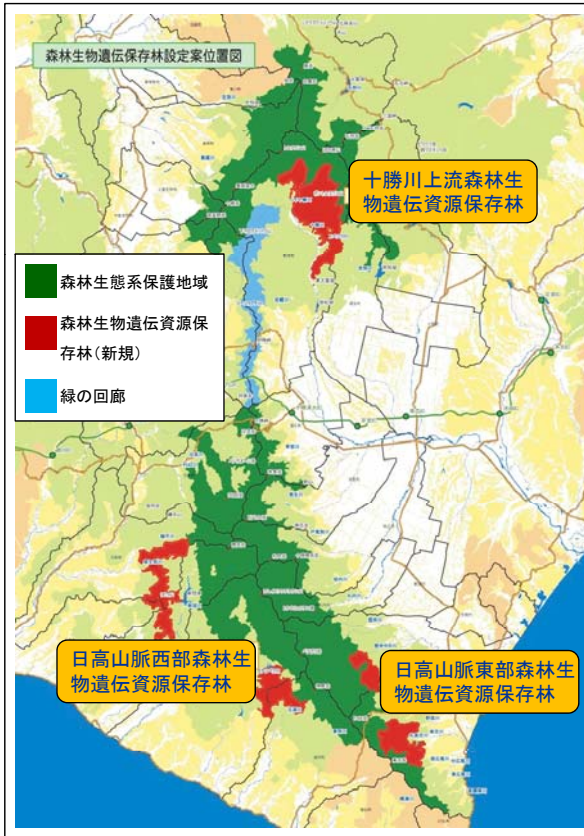
※ 数値は変更計画区(10計画区)の合計



森林・林業基本計画を踏まえ、効率的な路網整備や間伐等の森林施業を推進するため、林道にかかる計画量を増やします <sup>32</sup>

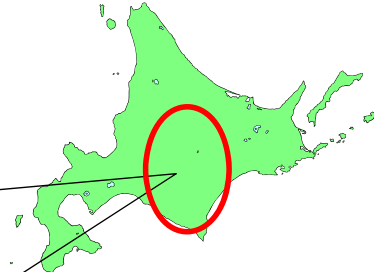


# 保護林の設定（日高、十勝森林計画区）



- ・日高山脈東部森林生物遺伝資源保存林 8.7千ha
- ・日高山脈西部森林生物遺伝資源保存林 15.4千ha
- ・十勝川上流森林生物遺伝資源保存林 16.3千ha

合計40.4千haを新規設定



森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に保存し、将来の利用可能性に資する